

## 第1回 小松川小学校・平井東小学校 統合準備委員会 議事録（要旨）

### 【日 時】

令和6年6月5日（水）18時30分～19時30分

### 【場 所】

小松川小学校 ランチルーム

### 【説明内容】

○令和11年度の統合に向け、準備をする組織として、統合準備委員会を設置する。  
主な検討項目は、「校名案の選定」、「校歌・校章の検討」、「学用品の検討」になる。

#### ○校名案について

新しい校名は統合準備委員会で選定した複数案（5案程度）の中から教育委員会で決定する。統合準備委員会では、選定方針の検討と教育委員会に諮る5案を決定する。

令和6年度は、校名案の選定方針を検討し、校名案の選定は令和7年度に実施することを想定。

#### ○校章／校歌について

校名決定後、校章及び校歌の検討開始を想定。

#### ○学用品の検討

校章が決まり次第、校帽をはじめとした学用品の検討開始を想定。

### 【意見交換内容】

○統合という呼び方が良いのか悪いのか疑問がある。両校閉校・新校設置ということであれば「新校立ち上げ委員会」などの名称の方が分かりやすいのではないかと。

⇒この会議の名称に決まりはない。そのため、会議参加者の皆様が納得する良い名称があれば変更することは可能である。次回会議の際に名称については意見を募り、必要に応じて変更できれば良い。以前は「統廃合」という呼び方をしていたが、対等に統合することを強調するために「統合」という言葉を使っていた。良い名称があればご意見いただきたい。（事務局）

○校名、校歌、校章をこれから検討していくことは理解した。学用品については、指定品ではなく、例えば体育着であれば白いTシャツであれば可とするという動きがある。こ

うした最近の流れを皆さんと共有させていただき、検討を進めていければと思う。

⇒過去に統合した学校では今まで指定品だったものを条件の緩和をすることで、統合以降も既存の学用品が使えるようにする取り組みを行ってきた。保護者の負担軽減という観点も考慮しつつ検討を進めていきたい。(事務局)

○これまでの統合校の校名を見ると、下小岩小と下小岩第二小、下鎌田小と下鎌田西小など、関連する校名の学校が統合している。今回は同じように校名を決めることが難しい。皆が納得できる校名に決めることができれば良い。

⇒令和7年度の統合に向けて準備をしている鹿骨小・松本小は互いに関連がない校名だが、両校を合わせ、「鹿骨松本小」という名称になる予定である。これは、片方の校名に寄らないようにしつつ、新しい学校としてふさわしい名前になるよう公募して検討してきた結果である。校名を決める際には、校名と合わせて校名に込められた思いも大事に検討をしていきたい。(事務局)

○今回の統合によって、どちらかの校名に寄った名称になることは違和感がある。どちらかの校名に寄せるのは避けたいと自身では強く感じている。

⇒公募する際に、「既存の校名は採用しない」と条件を設定することも可能である。地域にとってふさわしい校名になるよう、決め方も含めてこの会議で検討していきたい。(事務局)

○この会議の前提として、A校とB校が統合して「A'」になるのではなく、新たなC校になるという認識で良いか。また、校名のことも含めて、どちらかの学校が主になるなど、そういったことは決まっていないという認識で良いか。

⇒お見込みの通りである。対等な統合をして新校になるという認識で考えていただきたい。地域や学校関係者の理解が得られるよう、どちらか片方に寄ることはないように進めていきたい。(事務局)

○統合した後に校名に関してトラブルになったことはあるか。

⇒これまで校名に関しては大きなトラブルはないと認識している。できるだけ多くの方に納得いただける方法で進めたい。(事務局)

○校名を選定する際、例えば候補に残った案の中から最終候補を選定する場合に公募の件数に寄って決めることになるのか。

⇒件数によって校名が決まるわけではない。ただし、件数が多かったことは参考情報の一つとして、教育委員会に伝えることはできる。他県では、校名の選定過程に地域の理解を得られず、一度決まった校名が覆ったことがあった。こうしたことのないよう

に検討を進めていきたい。(事務局)

○件数によって決まるわけではないとする一方で、結果的に件数の多い校名案に決定した場合、説明との食い違いによるトラブルが発生する可能性はあるのではないか。責任問題となり、他県で発生したように校名が覆るようなことが起こらないか懸念する。

⇒教育委員会には、校名選定の過程や校名に込められた思いなどの経緯もあわせて諮ることになる。地域の総意と考えられる校名案があれば、その旨を参考情報として申し添えることもある。統合準備委員会で複数の校名案を候補にするのは、校名選定にかかわる責任や負担が統合準備委員会に過度に集中することを避けるという目的もあり、状況に応じた適切な検討を進めていきたい。(事務局)

○東小松川小学校は別の学校の校名として使用されているから、小松川小と平井東小の校名を合わせて考える際は考慮しないといけない。

○統合後の両校の校舎の扱いについて方針は決まっているのか。

⇒まだ決まっていない。学校の後利用については、将来の行政需要を鑑みて公園として整備するという区の大きな方針はあるが、個別に小松川小、平井東小の後利用については決まっていない。(事務局)

○統合の話を最初に聞いた際に校名のことを懸念した。地域の方が納得できる校名を皆で考えていきたい。難しい課題だと思うが、これからの会議で議論していければ良い。

⇒これまでの統合校の公募の内容を見ると良い名称の応募が沢山あった。校名の意味やそこに込められた想いも大事にしながら決めていければ良いと考える。(事務局)

以上